

谷公民館主催のミニ畳づくりが開催され、12人が参加しました。
参加者は国産イ草、琉球畳、ビニール樹脂など様々な素材の畳表から好きなものを選び、小さな畳風の飾り台を作成。手触りや香りを比べながら作業を楽しんでいました。
畳の縁は、色とりどりの柄から好きな布地を選んで貼り付け。慣れない道具の扱いに苦戦しながらも、ミニ畳が出来上がると、歓声があがっていました。参加者は「お雛様を飾ったり、花器を置いても良さそう」と話していました。

**インテリアにも人気
ミニ畳づくり**



仕上がったミニ畳と笑顔で記念撮影

2.11
水祝

地域の農産物を使った加工品づくりに取り組む「家の光グループ」会員による味噌づくりが、さつき会館で行われました。
40年以上前から活動を行ってきた「家の光グループ」。以前より会員は少なくなっていますが、「これまで引き継がれた味を絶やさないために」と、毎年味噌づくりを続けています。
地元で生産された米を使った米麹、大豆を原料に仕込み、隠し味に昆布を加えます。味噌が食べ頃になるのは12月頃。参加者は出来上がりを楽しみに仕込み作業を行っていました。

**受け継いできた伝統の味
「家の光グループ」味噌づくり**



大豆の香りが調理室に広がります

2.3
火

広島頓原会総会が広島市内で開催されました。
広島頓原会は、広島県在住の頓原地区出身者や関係者が交流する会で、毎年総会や交流会を開催して親睦を図っています。また、本町の魅力を発信するなど、本町の発展を応援しています。総会には、出身者のほか塚原町長や町商工会会長など合わせて26人が出席。泉原龍見会長の挨拶や、バーテンダーによるパフォーマンスで盛り上がりました。
和やかな雰囲気の中、お互いの関係を深める会となりました。

**飯南とのつながりを持ち続ける
令和8年広島頓原会総会**



にぎやかな会の締めくくりに集合写真

1.17
土

しまねふるさとフェア2026が、ひろしまゲートパークとハノーバー庭園で開催されました。
島根県の市町村や関係団体が一堂に会すイベントで、物販やステージイベントのほか、観光地の魅力を体感できる体験コーナーなど盛りだくさん。本町からは、しまねあつあつ屋台村コーナーに4つの事業者が出店し、それぞれの名物や特産品を販売しました。
冬晴れとなった2日間は、多くの来場者が訪れ、町内事業者の出店テントも大盛況となりました。

**島根・飯南の魅力を発信
しまねふるさとフェア**



目当ての商品を求め行列ができる時間帯も

1.17
土
18日

- 令和7年度 家族でつくる人権標語 優秀作品**
- ありがとう きちんとつたえて いい気持ち
●金賞 渡邊 颯菜 頓原小4年生/家族名 智昭
 - 勇気出し 見て見ぬふりは もうしない
●金賞 安部 陽南 来島小3年生/家族名 朝陽・亜裕子
 - あそぼうよ スマホは置いて みんなでね
●銀賞 三原 桜 頓原小6年生/家族名 宏之・佳代子
 - あいさつで 自分も相手も 心びかぴか
●銀賞 丸山 大洋 志々小6年生/家族名 恵子
 - ご用心! フェイクニュースの 落としあな
●銀賞 小野あおい 赤名小3年生/家族名 大輔
 - ありがとう 笑顔をふやす あいことば
●銀賞 中林 紘生 来島小4年生/家族名 由紀
 - 「あそぼうよ」 にこにこえがお またさいた
●銅賞 藤原 杏 頓原小1年生/家族名 英雄・優華
 - 大丈夫 その一言が うれしいよ
●銅賞 深石 尚暉 頓原小5年生/家族名 尚志
 - ありがとう 感謝の言葉で 笑顔咲く
●銅賞 海藤 悠太 志々小6年生/家族名 由美子
 - 「こまってる」 伝える勇気に グッドマーク
●銅賞 水谷 春陽 赤名小4年生/家族名 千恵子
 - わる口、かげ口のない 未来ある町に ぼくは住みたい
●銅賞 伊達 士恩 来島小2年生/家族名 佑紀
 - 思いやり 言葉づかいの 二刀流
●銅賞 山根 陽樹 来島小6年生/家族名 なつ子

**人権を考え、理解を深める
家族でつくる人権標語**

飯南町人権・同和教育推進協議会では、住民の人権意識の高揚を図るための教育・啓発活動の一環で、小学生とその家族を対象に「家族でつくる人権標語」を毎年募集しています。今年度は96点の応募があり、1月23日に審査会が開催されました。
審査会では、特に優秀とされた12点を決定。今後、この12点を本広報誌に毎月1点ずつ掲載予定です。



頓原小4年 渡邊颯菜さん



来島小3年 安部陽南さん

1.23
金

**雪のある暮らしを楽しむ
作って灯そうスノーキャンドル**

スノーキャンドル実行委員会主催の「作って灯そうスノーキャンドル」が道の駅頓原で開催されました。
参加者は、雪で様々な形を作り、中にライトを灯す「スノーキャンドル」を作成。雪像を作ったり、雪に色塗りをしたりと雪遊びを楽しみました。
会場では地域の団体やグループが屋台を出店。しし汁やポタージュのふるまひもあり、行列ができていました。
夕方にはスノーキャンドルが点灯され、幻想的な光景に歓声があがっていました。

**雪のある暮らしを楽しむ
作って灯そうスノーキャンドル**



町外からの来場者も多く、雪遊びを楽しんでいました

1.31
土

**寒い冬でも全力で楽しむ
ゆきんこまつり**

赤名改善センターと役場職員駐車場で「ゆきんこまつり」が開催されました。
赤名地域まちづくり連絡会を中心に企画された、赤名地区の活性化を目的としたイベントで、毎年、町内外から多くの参加者を迎えて行われています。今年も総勢78人が、改善センターで卓上のカーリングや射的、駐車場ですり遊びや雪山スプレーなどを楽しみました。
交流事業を続けている出雲市伊野地区から来た35人の参加者も一緒に、目いっぱい遊び尽くしました。



真っ白な雪に思いっきり落書き

1.18
日